

アートワークショップで フィリピンの森を守る



コーディリエラ地方



- 6つの州
- 人口179万7660人(2020)
- さまざまな先住民族
- インフラの未整備
- 豊かな森林と水資源



フンドアン・ハパオ村の棚田



マヨヤオの棚田



進む森林の農地への転換

違法な鉱山開発



コーディリエラ・グリーン・ネットワーク



- フィリピンでNGO法人登録している非営利団体 (NGO)
- 2001年、反町と在住の日本人女性、フィリピン人3名の5名で設立。
- 活動目的:ルソン島北部のコーディリエラ山岳地方の環境保全と、そこに暮らす先住民族の環境に負荷を与えない形での暮らしの向上。
- スタッフは全員先住民。フィリピン人専門家、日本人インターンなども参加。

CGNのプロジェクト

- 森と水源を守り、災害を減らすための植林
- 森を守りながら、先住民族の人の暮らしを向上させるアグロフォレストリー（森林農法）
- アグロフォレストリーで栽培したコーヒーの加工方法指導
- 先住民の人自身が、森を守ることの重要性に気づいてもらうための環境教育
- エネルギー源をできるだけ地域で自給するための適正技術指導
- 有機農業指導



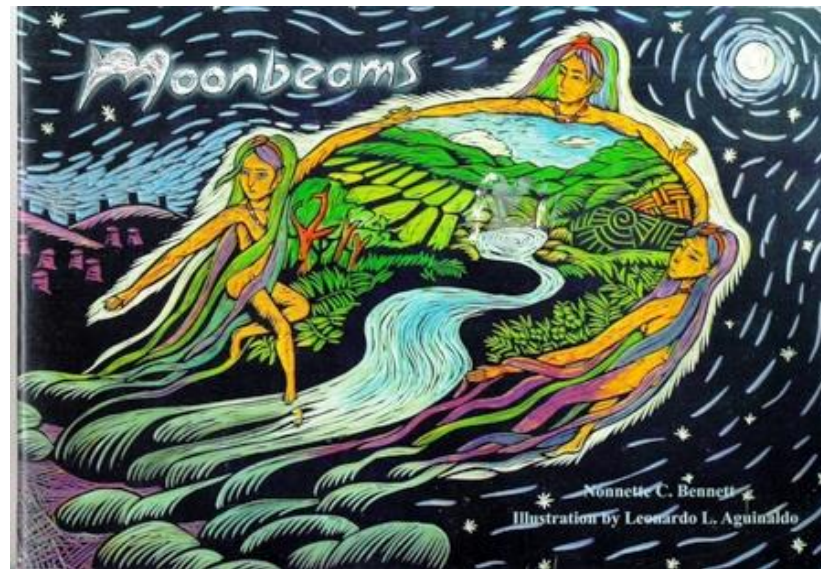
アートを活用した 環境教育プログラム



CGNの環境教育の目的

- ・自然をいつくしみ、木を育てる人を育てる。
- ・先住民族にとっては、あまりにも身近な自然の価値を再発見する。
- ・ないものを数えない。持っている豊かさを学ぶ。

- ・環境教育セミナー&ワークショップ
- ・教員向け環境教育ファシリテーター養成講座
- ・演劇やアートを活用した環境教育プログラム
- ・環境教育教材の制作と学校への配布
- ・環境イベントの開催
- ・幼児向け体験型野外教室



演劇を活用した環境教育ワークショップ



先住民の伝統文化を取り入れながら、民話やコミュニティの環境問題に題材をとった演劇をワークショップで制作



アートを使った子供たちへの環境教育ワークショップ



土、粘土、植物の繊維、ゴミ、端切れなど、身近な材料を使ったアート・ワークショップで自然の豊かさを伝える



ソイル・ペインティングでティピ作りワークショップ



いつの間にか壁がキャンバス。古い小学校の講堂がソイルペインティングに埋め尽くされたこともある



日本人紙漉きアーティストのワークショップ



端切れ布を使ったタペストリーづくりワークショップ



ソイル・ペイントを使った版画ワークショップ



竹や泥を使った楽器作りワークショップ



地域の民話をテーマとしたアートワークショップ

期間: 2022年4月～2025年3月

目的: 先住民の村に残る、
環境との共生をテーマとした民話を記録し、
次世代に伝える。

1. 民話の語り部を探す

2. 語り部の語りをビデオ収録する

3. 小学校に語り部に来てもらって
生徒にお話をしてもらう

4. ファシリテーターがその民話を
テーマにアートワークショップを行う



マウンテン州の 8つの小学校で開催





アーティストによる 民話をテーマとした アートワークショップ









高濱浩子さんは、関西を中心に各地で報告トークとアートワークショップを開催




神戸 こども本の森での展示

現在、民話と
アートワークショップで描かれた絵と、
ワークショップの写真による
学校教材としての本を制作中

コロナで何が変わったか？

SNSの市の広報課のページで毎日発信されるコロナ感染状況と規制

BAGUIO CITY COVID-19 MONITORING AS OF AUGUST 22, 2021 AT 5:00PM
Source: CITY HEALTH SERVICES OFFICE



COVID-19 CASES SUMMARY

TOTAL COVID-19 CASES 16,695	677 ACTIVE CASES New: 115 4.06%
	328 DEATHS New: 1 1.96%
	15,690 RECOVERIES New: 35 93.98%
	RT-PCR TESTING CAPACITY

1,176 TEST DONE TODAY	228,646 TOTAL TESTING DONE
------------------------------	-----------------------------------

COVID-19 HOTLINES: 665-4677 442-1900 442-1905
442-1901 661-1455
GLOBE: 09167974397 / SMART: 09184880195

WE WORK AS ONE, WE HEAL AS ONE
For more info visit <http://endcov19.baguiogov.ph>

BAGUIO CITY COVID-19 MONITORING AS OF AUGUST 22, 2021
Source: Barangay Response



BARANGAYS ON LOCKDOWN

23 TOTAL BARANGAYS

NEW LOCKDOWN ORDER	LIFTING OF LOCKDOWN
1. Campo Filipino - Naguilian Road 2. Paddal - Liteng Road	1. PMA-Fort Del Pilar - Block 24, Pinesville Subdivision 2. Bakakeng Norte/Sur - Purok 4

EXISTING LOCKDOWN ORDER

1. East Modern Site - Puroks 1 & 3, Ledesma Street 2. Brookspoint - Puroks 2, 4, & 7 3. Paddal - Maria Basa, Siapno Road 4. Ambiong - Purok 1 5. Campo Filipino - Gaerlan Street 6. Dizon Subdivision - Block 1, Pinetree Street	7. West Bayan Park - Road 1, Evangelista Street - Evangelista Street - Evangelista Street, Road 1, Leonila Hill 8. West Quirino Hill - Block 4 Extension 9. Lopez Jaena - BWD Compound 10. Military Cut-off - Puroks 2 & 3 11. Camdas Subdivision - Main Road	12. St. Joseph Vill - Navy Base - Morning Glory - Purok 7 - Sunflower Street 13. Brookside - Purok 1 14. Sto. Rosario Valley - Purok 1, North Sto. Tomas Road 15. Gibraltar - Purok 6 - Tiptop Ambuclao Road
---	---	---


WE WORK AS ONE, WE HEAL AS ONE
For more info visit <http://endcov19.baguiogov.ph>

情報

[すべて見る](#)

LGU BAGUIO PUBLIC INFORMATION OFFICE
We are LGU Baguio's mouthpiece. As such, we can and we will respond only to the concerns involving our local gov... [もっと見る](#)

友達55人を含む73,930人が「いいね！」しました



386,272人がフォロー中です

<http://www.baguiogov.ph/>


メッセージを送信

政府関係者

人口以上の人が「いいね」



UPDATED GUIDELINES
(effective March 2, 2021, subject to revisions whenever necessary)
for a
RESPONSIBLE VISIT
to
BAGUIO CITY

 Create an account and register your travel at visita.baguio.gov.ph then save or print **QTP** (QR-coded Tourist Pass) that will be sent to your email

- Each person must register with uploaded valid ID and current photo
- Minors may use parent/guardian's ID.
- Entering travelers on official business, medical purposes, returning residents, employees/workers and students shall register at hdf.baguio.gov.ph.

Proceed to triage for health declaration validation


- Checkpoint border officers shall provide escort assistance to the designated triage. Present QTP to triage officers for updating of travel status.


NO MORE COVID-19 TESTS REQUIRED
(some private tourist establishments and public transport providers may still require tests before entry/boarding, please verify with their respective offices)


- Visitors found to have COVID symptoms shall undergo RT-PCR testing, and will be quarantined until results are released.


Follow existing minimum health & safety protocols and city ordinances while in the city:

- Visitors below 15 years of age may not be allowed in some private establishments; but when allowed, they must always be accompanied by parent or guardian.
- Comply with tourist establishments and venues' allowable maximum capacity.
- Avoid enclosed and crowded areas.



**WASH /
SANITIZE
HANDS**



**MANDATORY
WEARING
OF FACE MASK**
Ordinance No. 25-2020


**MANDATORY
WEARING
FACE SHIELD**
Ordinance No. 18-2020


**MAINTAIN
PHYSICAL
DISTANCING**



**Follow Traffic
Number Coding
Scheme**
1 0 7 - Mondays
3 0 4 - Tuesdays
5 0 6 - Wednesdays
7 0 8 - Thursdays
9 0 0 - Fridays


**NO
SMOKING**
Ordinance No. 34-2017


**NO
LITTERING**
Ordinance No. 54-1998&41-1996

#BeAResponsibleTourist
#BaguioSafeHaven

For queries, send a message to the following FB pages: Baguio Tourism, Baguio VISITA

- 厳しいロックダウン
- 公共交通手段なし
- 多くの店が閉鎖
- 全家屋に1枚ずつ買い物パス
- 政府から米や干し魚などの配給

ロックダウンでどうなった？

—観光関連業は軒並み倒産か休業

→政府からの手当なし。日曜歩行者天国で販売許可

→ロックダウン解除後は若者たちによる小さなスタートアップブーム(フードHub、フードトラック)

—オンラインビジネス、宅配ビジネスの充実



—英語学校のオーナーなど(韓国の人が多い)は職業替え。

→カフェ、焼肉レストランなど。

- 一若者は故郷の山岳部の村へ帰る。
- 森林の農地への転換が進む。
 - 貴重な植物の森での採取と観葉植物として高値での販売。
 - 違法な鉱山採掘が拡大。



個人による金採掘と精製



Plantita (植物おばさん), Plantito (植物おじさん)なる流行語も

マウンテン州サダンガ町の町長

「先住民コミュニティはこういった非常時に備えて常に食料の備蓄がある。そして富める者が貧しきものに分け与える伝統は今も生きている。

社会福祉省からの 食料などの配給は、都市部の貧困層に回してほしい」



→SNSでの投稿は、コーディネエラ先住民はもちろん、外部からも絶賛。

- SNSを使ったオンラインビジネスが急激に広まった都市部。「サポートローカル」を謳い、地方で生産された特産品や先住民の手織物などを扱うオンラインショップが次々登場。



サダンガの町長とコミュニティ
写真: Facebookより

→コロナ禍が、先住民たちが自らの文化・暮らしを見直すきっかけとなった。

2年半に及ぶ学校封鎖

- 一山岳部ではインターネットがなく、オンライン授業ができない。
- 一家庭での自習となったが、親が教育を受けておらず教えられない。
- 一家庭で教えるための教材がまったくない。
- 一外部との交流が完全に断たれ、将来への夢を抱けない。



- 教育レベルの低下。
- 10代の妊娠増加。
- インターネットのある都市部と地方での教育格差の拡大。

オンラインで行った演劇ワークショップのプロセスで
「自分の村で大切な5つのもの」を先生にあげてもらった。

1. 田んぼ



2. 山



3. 川



4. 道



5. 食料



コミュニティでの演劇ワークショップのプロセスで 「自分の村で大切な3つのもの」を子供たちにあげてもらった。



1. 光:太陽光、月光、懐中電灯、電球など。

光がなければ、私たちは見ることができない。特に目の不自由な人は、光がなければ、それが昼か夜かを判断することが困難になる。

2. 木や花などの植物

私たちに酸素を供給し、酸素がなければ私たちは死んでしまいます。

3. 私たち人間

もし人間が一人だったら、この世界で生きている意味がありません。なぜなら、もし私たちが一人だったら、一人で歩いていることになり、誰にも伝えられず、何をすべきか、何を言うべきかわからなくなるからです。

